

キャリア教育だより

発行元：相模原市教育委員会キャリア教育推進チーム / 令和7年9月発行 No.2



相模原市では、第2次相模原市教育振興計画にキャリア教育を位置付け、令和2年度から取り組んでいますね。キャリア教育の推進によって、私たち教員の指導は変わってきたのでしょうか？また、それに伴って、子どもたちの様子も変わってきたのでしょうか？

「キャリア教育の推進により、日頃の指導が変わったか？」や「子どもたちに影響を与えているのか？」といったことについて、実感をもつことが難しいところもありますね。

それでは、キャリア教育の推進による成果があるのか、一緒に確認してみましょう。



【メインテーマ】

キャリア教育により、相模原の教育は変わった？
子どもたちに変化はあった？

下のグラフは、令和7年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問調査の結果です。「自分には、よいところがあると思いますか。」に対する回答の状況を見て、気付くことはありますか？



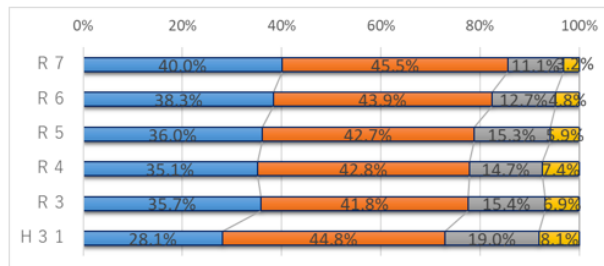
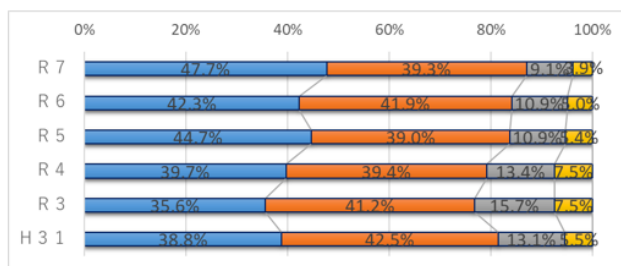
【質問】

自分には、よいところがあると思いますか。

〈児童〉 87.0%（全国との差：+0.1%）

〈生徒〉 85.5%（全国との差：-0.7%）

※ 〈 〉 の右の割合（%）は、肯定的に回答した児童生徒の割合を示しています。



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答



「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、**年々、増えて**いっていますね。
でも、どうして増えていったのかしら？

その主たる要因の1つは、次のグラフを見れば明らかになりそうですよ。



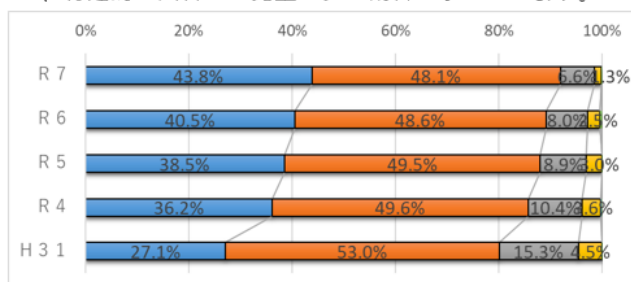
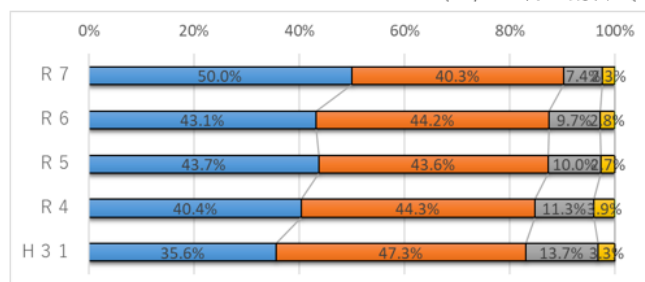
【質問】

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

〈児童〉 90.3%（全国との差：-1.9%）

〈生徒〉 91.9%（全国との差：-0.3%）

※ 〈 〉 の右の割合（%）は、肯定的に回答した児童生徒の割合を示しています。



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答



「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、先ほどの質問よりも**もっと顕著に伸びています**ね。

このグラフの変化の様子は、本当に「すごい」の一言ですよね。この質問の肯定群は、「先生に認めてもらえていると感じている児童生徒」といえるので、先生方が日頃から子どもたちのよさやがんばりを認めている証拠であるともいえます。



キャリア教育の推進により、「子どもたちの自己肯定感を高め、将来の職業的・社会的自立につなげたい。」という、私たちの願いが大きな力となって、子どもたちの意識にも変化が見られますね。子どもたちのよさやがんばりを積極的に認め、伝えることが大切です。

Column

ポジティブ行動支援 (PBS)



先生方のポジティブな言葉かけが、児童生徒の自己肯定感の醸成につながっていることを確認しました。本市では、現在、「ポジティブ行動支援 (PBS)」を進めています。これは、児童生徒のよさを認め、励ますキャリア教育の理念と共通するものと考えられます。

絵を見て一言・・・
(ポジティブ変換)

こんなに準備が遅いなら
お出かけしないよ!



あと少しで準備終わるね!
お出かけ楽しみだよ

やったねできたね!
楽しかったね!
助かったよ!



ポジティブに!!

自己肯定感

意図的に、望ましい行動が出やすい環境調整・設定を!

キャリア教育パンフレットを発行しました ～ご活用ください～

相模原市内で行われているキャリア教育の取組をまとめた「相模原市キャリア教育パンフレット」を発行しました。ぜひご一読いただくとともに、保護者の皆様や地域の皆様への周知にもご活用ください。

※相模原市キャリア教育パンフレットは、市ホームページにも掲載しています。

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/res/projects/default_project/page/001/021/181/pamphlet.pdf

